

ボランティア ニュース

No.360

5月26日(木)に、大野西小学校6年生の皆さんが福祉について学びました。点訳グループ「てのひら」の皆さんと植原鈴枝さん、手話サークル「かざぐるま」の皆さんと社協職員とで、「点字」・「手話」・「福祉」をテーマに学習しました。

点字の体験では、事前に用意してもらっていた「今、頑張っていること」、例えば「サッカーを頑張りたい」「勉強を頑張りたい」「運動会を頑張りたい」など、それぞれの思いを点字にして植原さんに読んでもらいました。

植原さんは、点字を読んで「子どもたちは、目標があってやる気もある。いろんなことに興味を持ってすごいね」と話され、初めは「自分の点字読んでもらえるかな?」と不安そうだった子どもたちも、「読んでもらえた!」と大喜びでした。

「てのひら」のひとは、「小学校が協力的で子どもたちも熱心に取り組んでくれるので福祉学習がしっかりできるよね」と話されていました。



こうわ

手話の体験では、口話ゲームをしました。口の形でわかるものもあれば、「タバコとたまご」のように口の形だけではわからないものもあります。そんな時、手話をつけると手の動きで意味がわかることを学びました。

児童からの質問で「骨伝導イヤホン」について質問があったので、「かざぐるま」の皆さんも、「詳しい子がいるな〜」と驚いておられました。



社協からは「福祉とは、普段の暮らしの幸せ」についてみんなで考えました。

「この前、駅で盲導犬見たよ!」「点字も知ってるよ!」との声も挙がり、「困った人がいたら助けてほしい」ことを伝えたとこ、みんな一斉に「困っていたら助けるよ!」と返ってきました。

地域や学校にはたくさんの悩みや生きづらさを抱えた人がいます。そんな時、寄り添っていけるような地域になれるよう社協と一緒に考えていきます。



西小の皆さんの質問にお答えします!

○点字についてQ&A

Q. 日本に点字が来たのは今から130年前だけど、130年前より前の人はどうやって生活していましたか?

A. 昔は今と違って、3世代、4世代で暮らしていたので、自分ではできない困ったことがあれば誰か家にいて助けてくれるのが当たり前の環境でした。それに目の不自由な人は、耳からの情報が1番の頼りだったので、耳で良く聞くようにしていました。ヘレンケラーの本を読んでみると参考になるかもしれませんね。

○手話についてQ&A

Q. 手話は難しいと聞きました。でも、手話を覚えたら生活はどのように変わりましたか?

A. 聞こえている人も歳を取るとだんだん聞こえにくくなります。手話を覚えるのは特別な人のためとかではなく、自然に自分の必要な物になっています。

Q. 耳が聞こえない方はどのように運転しているのですか?

A. ワイドミラーを取り付けてよく見るようにしています。

Q. ラジオはどうしていますか?

A. ラジオはないのでわかりません。

○福祉についてQ&A

Q. 社協の皆さんは、どのように社会福祉に心がけていますか?

A. 自分ができることから始めるように意識しています。小さなことでもきっと誰かの笑顔につながると思います。

○点字

- ・点字は自分には「関係ないもの」と思っていたのですが、点字は目が見えない人の唯一の手がかりだということが分かった。
- ・将来は点字を読めるようになって、困っている人を助けたいと思った。
- ・植原さんに点字を出した時、広範囲に触ったのにわかったのが不思議だった。

○手話

- ・「家に帰ってテレビの音量をゼロにしてみる」という宿題をやってみると、ビックリするくらい面白くなかった。
- ・この学習をして、いろんな障がいを持った人たちのために役立てることはないかなと思うようになったので、今後障がいで困っている人がいたら助けたいと思います。
- ・印象に残ったのは、手話をしているかざぐるまさんたちが「きらきら」していた。

○福祉とは

- ・障がいを持っている人には、声掛けをして目と目を合わせることを気をつけたい。
- ・自分の中では「心の天秤」というのは意識していなかったけどよく考えれば、助けてもいたし助けられていてバランスが良かった。
- ・福祉は障がいの人や不慣れた人が楽しく暮らせる、過ごせることだとわかった。その人のためにたくさん工夫したり施設を作ったりと、「その人のために」がたくさんあってすごいと思った。

【皆さんのご要望を受け、ついにモルック登場!】

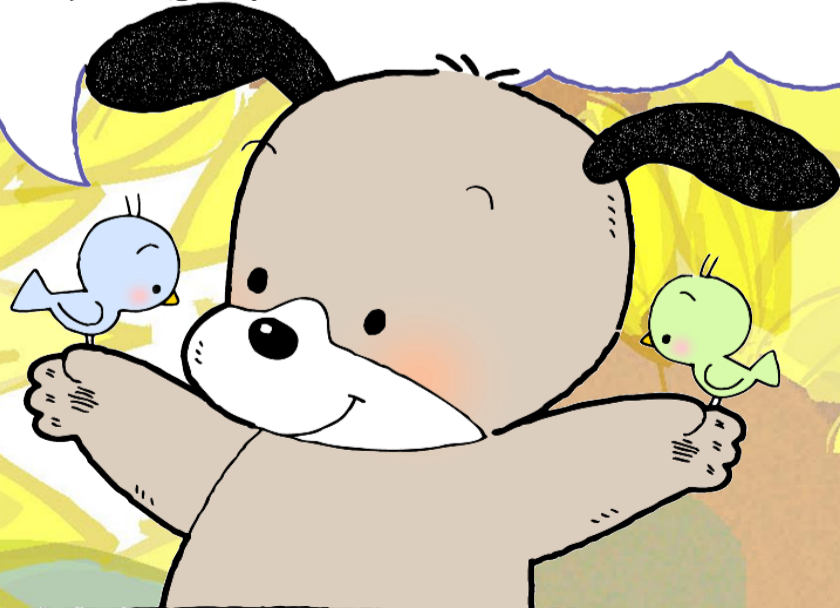
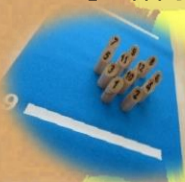
大野事務所のレクリエーショングッズにフィンランド発祥のスポーツ「モルック」が仲間入りしました。

モルック(投げる棒)でスキttl(木製のピン)を倒すゲームです。ぜひ地域のつどい・サロンなどでご活用ください。

★レクリエーショングッズの借り方★

- ①電話などでレクリエーショングッズを使いたい日時の予約をします。
- ②事務所でレクリエーショングッズを受け取ります。
- ③レクリエーショングッズで楽しみます。
- ④事務所にレクリエーショングッズを返却します。

返却時に、感想などを聞かせてくださいね。
お問合せ・ご予約は☎55-3294まで!



西小6年生感想コーナー